

篠川事務所の”ホット”通信

2019年3月号

税理士・中小企業診断士 篠川徹太郎事務所

〒226-0003

神奈川県横浜市緑区鴨居 3-1-9-201

電話：045-530-3727 F A X：045-530-3728

<http://shinokawa-office.com>

mail@shinokawa-office.com



ホットな話題をほっとするような分かりやすさでお伝えする“ホット”通信・・・Vol. 54 をお届けします。

消費税率の引き上げと軽減税率導入まであと半年ほどとなりました。自社の取引（売上・仕入・経費）のうち軽減税率の対象になるものについて、今一度見直しをされてみたら如何でしょうか？！

【税金を納めるとポイントが貯まる!？】

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを念頭に、社会全体がさまざまな分野でキャッシュレス化に向かっていきます。これは訪日外国人のニーズに応えるためもありますが、世界の流れに取り残されないようにという焦りでもあるのでしょう。そして、納税にもキャッシュレス化の波は押し寄せています。納税方法の中で一般的に知られているのは金融機関や税務署の窓口で納めるやり方ですが、税金の種類によっては指定した銀行口座より自動振替で納める方法もあります。これは「振替納税」といいます。また税金が30万円以下であれば、専用のバーコード付納付書を使って手数料不要で最寄りのコンビニで納めることもできます。この他にも事前の届出等は必要となりますが「ペイジー」を利用して金融機関のATMやインターネットバンキングで支払うことも可能です。さらに国税庁の専用サイトを介してクレジットカードも利用できます。この場合、1円～1万円までは82円（税込み）、それ以降は1万円を超えるごとに82円を加算した決済手数料が別途かかります。とはいえ、各カード会社によるポイント還元などの特典もあるため手数料を支払ってでも利用する価値はあるかもしれませんね。このように一昔前に比べて今の時代に合った納税方法の選択肢も随分と増えてきました。



【「外こもり生活」が増えています】

物価の安い外国に長期滞在する「外こもり生活」。東南アジアで外こもり生活を楽しむ若者が今、増えているようです。日本で1年間ほど短期就労で働き、節約して貯めたお金で観光ビザでの滞在が可能な国々を転々とするスタイルです。都市によっては日本食の店舗やインフラなども整っており、コミュニティのしがらみもなく快適に暮らせます。年齢が上がるにつれ継続は難しそうですが、日本での暮らしを見つめ直し、人生を再考する機会として有効かもしれません。



今月の教えてキーワード：【特別背任罪】

取締役などの地位にある者が他者や自分の利益を図り会社に財産上の損害を与えた場合に成立する。旧北海道拓殖銀行の不正融資事件や大王製紙の巨額背任事件など、不正融資や不良貸付が近年の事例として知られる。背任罪は刑法で規定され従業員などに適用されるが、企業経営者は責任がより重いことから特別背任罪としてそれ以上に重い「10年以下の懲役または1千万円以下の罰金」が科せられることが会社法で定められている。

【人の思いを大切にした商売】

「世の中に たえて桜の なかりせば 春の心は のどけからまし (在原業平：ありわらのなりひら)」。世の中にもし桜がなければ、どれほど心穏やかに春を過ごすことができるでしょう。この歌のとおり、日本人にとって桜ほど縁の深い花はありません。古来、花といえば桜を指したといわれるほどです。暖くなれば桜は咲いたかとそわそわし、風が吹けば桜が散りはしないかと気がもめる。そんな気ぜわしさも春が訪れた証です。世界的な桜の名所として知られるワシントンD. C. のポトマック河畔。あの桜並木は、1912年に日本が贈った桜の苗木から始まったのは有名な話です。桜の季節が終わった寂しさをなぐさめるように初夏を彩るのは、白や赤の花をつけるハナミズキ。アメリカ東部が原産のハナミズキは、ポトマック河畔の桜のお礼として大正時代にアメリカから日本に渡ってきました。ハナミズキの花言葉は「返礼」。当時の人々の温かい交流をうかがい知ることができますが、このハナミズキの運命はワシントンD. C. の桜とは異なるものでした。太平洋戦争が始まると、それまで日比谷公園などに植えられていたハナミズキの一部は「敵国の贈り物」として切り倒されたり、空襲などで枯れたりしてしまっただけです。人々の心はハナミズキから離れ、存在も忘れ去られました。しかし原木は生き残り、心ある人たちのおかげで再び開花することができたのです。東京都立園芸高校などでは、高さ10メートル、幹回りが1メートルを超える老木が今でも花を咲かせている様子を見ることができます。

100年以上前の出来事が今につながっている例はほかにもありますが、そこに共通しているのは「人の思いが新たな歴史を作った」ということです。今の商売が100年続くかどうかは運任せでも、商売に込めた思いが本物であれば新たな価値を生み出すことはあるでしょう。

人生100年時代、AIが台頭する時代だからこそ、誰に何を贈るか、誰に何を返礼するかを考えながら、今まで以上に人の思いを大切にしたい商売をしていきたいですね。



経営は科学。
数字も入れて
話しなさい

今を生きる！

先人の言葉

多くのチーフンストアを育てた経営コンサルタントである渥美俊一（おみしゅんいち）の言葉。夢や希望をかなえたいければ、そこに日付や売り上げなどの数字を入れることが大切だ。

【荒くれ漁師をたばねる力】

大学中退・離婚のシングルマザーが漁師の集団をまとめ上げてゆく話。作り話なのではと半信半疑で読み進めてゆくと、じきにグワッと熱いものがこみ上げてきます。サイズの違う歯車が軋みながら動き始めいつしか大きなうねりになるのですね。

